

2. 次の各文の () に合うつなぎ言葉を、あとの□から選び、――部をノートに写しましょう。

みなさんは、お化けといえはゆうれいや妖怪をすぐに思いうかべることでしょう。ゆうれいは、死んだ人が成仏(じょうぶつ)しきれなくて、魂がこの世に残ったものです。

成仏とは、もともと仏教の言葉です。修行をしている人が悟り(さとり)をひらくことをさしていました。

では、悟りをひらくとは、何でしょうか。このことを説明するのは難しいのですが、かんたんに言えば、人が持っているさまざまな欲望(ぼんのうと言います)から自由になることをさします。()、長生きしたい、お金持ちになりたい、おなかですいた、ねむいなどの欲望です。このような欲望から自由になることを「悟りをひらく」といい、悟りをひらくことを「成仏」すると言っていました。

人は死んでしまえば、お金持ちにもなれませんが、おなかがよくこともありません。死は、あらゆる欲望から自由になると考えることもできます。()、いつしか人が死ぬことについても「成仏する」と言うようになりました。

死んでしまえば、この世の欲とは関わりがなくなるのがふつうですが、ほとんどの人は死ぬことをいやがります。()、やり残したこと、自分が死んだら困ることなど、思い残しは誰にでもあるからです。こういう、誰もが持っている思い残しの感情を「未練(みれん)」と呼びます。

未練は誰もが持っている感情です。()、死んだ人の大半はこの世に未練を残すことになりました。死ぬまぎわになって「もう、思い残すことは何もねえ」と言えるのは、とても幸せなことかもしれません。そういう人は、素直に成仏できます。

()、私たちはたいいてい未練を残します。死んだとき、この世に未練を残すことは、魂をこの世に残すことを意味します。そして、この世に魂が残ったままでは極楽浄土(ごくらくじょうど)に行くことができません。

したがって なぜなら そこで たとえば ところが